



小田原支部教宣部発行

2022.01.04

新年号

四



季



全印刷局労働組合小田原支部
執行委員長 山口 博幸

あけましておめでとうございます。
新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げるとともに
皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのことと心
からお喜び申し上げます。
また、日頃より小田原支部の取り組みに対して、組合員
皆様のご理解、ご協力に深く感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界的に大きな脅威をもたらすなど、健康や生命が脅かされる事態となりました。経済も観光、外食、イベントの中止や自粛、外出制限により消費の減少幅が拡がり様々な分野に影響がでた年でした。

小田原地区の三機関についても、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置等の影響により、各種感染予防対策や在宅勤務等のなか、印刷局事業を停滞させることなく継続できたことに対して、改めて感謝申し上げますとともに、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束を願うところです。

また「第49回衆議院議員選挙」が昨年10月に行われるなか、全印刷推薦候補の神奈川選挙区「中谷一馬(7区)」氏、「阿部ともこ(12区)」氏、「後藤ゆういち(16区)」氏について当選をはたすことができましたが、17区選挙区の「神山洋介」候補については、前回より有効投票数を伸ばしたものの、残念な結果となりました。そして、本年は「第26回参議院選挙」の年となっており、JP労組中央副執行委員長「しば慎一」候補を全印刷として推薦決定しています。全印刷としては、国の政策次第では、独立行政法人改革が狙いにある可能性があるので、将来にわたり安定した印刷局事業を継続していくためにも、全印刷運動に対して理解・協力を頂ける議員の必勝に向けて、引き続き、取り組んでいきたいと思っておりますのでご理解・ご協力をお願い致します。

2022春季生活闘争について連合は、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、働く仲間の力を結集し現状を動かしていくべき時であるとし、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を積極的に求める「未来づくり春闘」を展開していくこととしています。

すべての組合が月例賃金の改善にこだわり、それぞれの賃金水準を確認しながら、「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組みをより強力に推し進め、これまで以上に賃上げを社会全体に波及させるため、それぞれの産業における最大限の「底上げ」に取り組み、賃上げ分2%程度、定期昇給相当分(賃金カーブ維持相当分)を含め4%程度の賃上げを目安としています。全印刷も連合の春闘方針を基本に議論を進め具体的な取り組みを決定し展開していくこととしています。

また、公務員の定年引上げについては、昨年の第204通常国会において「国家公務員法等の一部を改正する法律」が、6月4日参議院本会議にて可決・成立しました。60歳で定年を迎えた組合員の雇用と年金の接続に関して、長年にわたる課題であった定年延長が動きだします。全印刷としては、組合員皆様との情報共有を図るなか、本年の第130回中央委員会のなかで大綱一致を図り、2023年4月1日の実施に向けて進めていくこととしています。

改刷については、製造に向けた体制整備等が4月に向けて本格的に動き出そうとしています。これまで築き上げてきた技術を活かして新様式銀行券の製造に向けて、国立印刷局として国民経済や国の行政に対して必要不可欠な製品を安定的かつ確実に製造していくことが、より一層社会の信用・信頼にも応えていくことになると思います。

労働組合としても、新様式銀行券を安定かつ確実に供給するという国立印刷局の使命を果たすことが雇用確保に繋がることから、これまでの改刷時における課題を教訓に、組合員皆様のご理解・ご協力のもと、進めていきたいと思っております。

最後になりますが、今後の環境変化にも耐え得る事業基盤強化に向けて組織一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、本年も、全印刷局労働組合小田原支部の各種取り組みに対し、皆様のご理解とご協力をお願い致しますとともに、組合員皆様並びにご家族の皆様が幸多き一年でありますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。
共に頑張りましょう。

